

8月の歴史

- 1日 スイスの独立(1395)
 3日 学制の公布(1872、明5)日本最初の学校教育制度。256の中学校、53,760の小学校
 6日 原爆記念日、1945年のこの日、世界最初の原爆が広島に投下され25万人が死傷した。
 9日 長崎原爆記念(1945)
 10日 はじめて銅銭を通用(708、和銅元)
 12日 日本で最初の硬貨と銅開宝で銀銭、銅銭の二種がある。
 15日 文部省「君が代」を国歌に制定(明25)
 20日 終戦記念日(1945)
 27日 NHK創立記念日(1926) この日芝浦の仮放送局から放送開始
 第1回国勢調査の人口を発表(1921、大10) 大正9年10月10日現在の調査では55,963,053人

統合麻生中建設はじまる

七月十六日に起工式

麻生中学校の建設について、敷地の選定、買収等の問題についてあります。特に整地問題に関する誤解などもあつて、種々

御心配をおかけしたことと思いますが、中心をなす考えは、御配慮、御協力をいたしております。

一日も早く立派な学校を建設したい意途に外ありません。議会の意志も当然ここにあります。



無事工式を祝して

◎明るく正しい選挙友の会支部を結成



加入の皆様方で、友の会麻生支部を六月二〇日白帆荘で結成しました。

当日は、友の会加入の六八名

中四二名が参加、規約の決定

役員選出、決議文の可決など

終了後、県友の会副会長の渡

辺秀先生の講演があり、映画

観賞後閉会しました。

この「友の会」に加入するには、有権者であれば、誰でも

かまいません。いつでもどし

どし申込みになつて下さい。

7月のこよみと行事

- 1日 天王崎水泳浴場開き
 4日 参議選投票開票
 10日 町議会
 12日 消防分団長会議
 16日 麻生中起工式
 17日 農産物改良協議会
 19日 青年団体育祭準備会
 26日 農協合併推進懇談会

6月末日人口

	男	女	計	世帯数
麻生地区	2,696人	2,895人	5,591人	1,215
太田地区	1,062	1,103	2,165	400
大和地区	2,436	2,589	5,025	935
行方地区	1,216	1,324	2,540	501
小高地区	1,724	1,788	3,512	678
計	9,134	9,699	18,833	3,729



議員選挙には、農繁期と天候に左右され投票率の向上は、のぞめませんでした。内訳は最高太田第一投票区三七年の同選挙の投票率五九・一五%と比べて二・九七%も下回り五六・一八%でした。

今月の税

固定資産税
第2期

参考表を参照下さい。

出足の悪かつた

参議選投票 前回を下まわる

七月四日に行なわれた参議選

議員選挙には、農繁期と天候に左

右され投票率の向上は、のぞめませんでした。内訳は最高太田第一投票区

三七年の同選挙の投票率五九・一五%と比べて二・九七%も下回り五六・一八%でした。

改正された国民年金

福祉年金内容を充実

年金額月額200円引上げ

国民年金法等の一部を改正する法律は、昭和40年五月三一日法律第九三号をもつて公布された。

この改正は、主として福祉年金の内容の充実を図ることを目的として行なわれたものであるが、その改正の内容は、福祉年金額の引上げ、障害年金等支給範囲の拡大、所得制度の緩和、公的年金との併給限度額の引上げ等である。以下改正の概要についてお知らせします。

◆年金額の引上げ

老令福祉年金をはじめ、各福祉年金の年金額が、消費物価の上昇、拠出年金との均衡等諸般の情勢を勘案し、本年九月分から年額二、四〇〇円(月額二〇〇円)引上げられた

老令福祉年金
一五、六〇円(月額、三〇〇円)
障害福祉年金
一六、〇〇円(月額、五〇〇円)
また、福祉年金額の引上げ

に伴い、拠出年金についても老令年金の最低保障額及び年令読替により受給資格期間が短縮される場合の年金額の引上げ、また母子、準母子年金の最低支給額を増額するなど福祉年金を下廻らないよう考

慮された。

◆障害年金及び障害福祉年金の支給範囲の拡大

二〇才未満の精神薄弱児扶養手当制度が創設されたことにより、重度精神薄弱児扶養手当制度が創設されたことにより、精神薄弱等、すべての精神障害が

当制度が創設されたことにより、重度精神薄弱児扶養手当制度が創設されたことにより、精神薄弱等、すべての精神障害が

いつまでもおたっしゃで敬老会終る

六月二三日麻生地区から始まり六月二九日太田行方地区まで、四日間にわたり行なわれた敬老会は、招待者八八九名中六〇五名のおとよりの皆さんが元気で出席されました。

婦人会の皆さん方の多彩な演芸に、大そう喜こばれ、無事終了することができました。

ご協力下さいました婦人会その他の皆様方に厚くお礼申し上げます。



「家庭の日」

7月から毎月の第三日曜日

募集要領

等をもつて青少年の健全育成をはかる。第四に各種話し合い学習を通じ、消費者教育を深め、生活の社会的意識を高める。

第五に、その他地域性をいかして統合的なプログラムをおこなうとともに関係運動、行事が生じるのを軸として、家族どうしの明るい人間関係をつくり、また合理的な消費生活をいとなむため、いろいろ、くらしの工夫をしたり、また家庭をとりまく社会生活のなかでは「青少年の声を聞く会」等を開催して、みんなで、これから楽しむためには、私たちの家庭がより明るく、より楽しい社会となるためには、私たちの家庭となりなければなりません。

また、家庭の明るい生活設計と家庭のもつ社会性を正しく育てるため話し合い活動を進め、正しい人間関係と、あらしい町づくりを県民運動として推進しなければなりません。

このような考え方から、県や

市町村、また関係機関、団体などが、いつしょになつて、ことしの七月から毎月の第三日曜日を「家庭の日」とし、この「家庭の日」を中心に明るい家庭づくりのための県民運動「明るい茶の間運動」を実施することになりました。

第一に家庭指導の基本方針として

第二に家庭教育学級をさらに化をはかる。

第三に地域や団体で「青少年の声を聞く会」「青少年議会」での「明るい茶の間運動」は家庭の話しあいをはかる。

この場合は、はがきに書く必

要はありません。

(1)一般的部……郵便はがきを用い、一枚につき一点のみ記入すること。なお一人何点応募されてもさしつかえない。

(2)小中学生の部……学校で取り組んで応募して下さい。

この場合は、はがきに書く必

要はありません。

(3)文字はかい書で、はつきり書いて下さい。また住所、氏名職業、年令等も必ず書いて下さい。

(4)しめきり、昭和40年8月31日(土)当日の消印有効です。

賞金

一般の部

入選五名

佳作一〇名

記念品

小中学生の部

佳作一〇名

学用品

城県青少年室

水戸市北三の丸

茨城

入選発表

昭和40年9月13日

送り先

城県青少年室

水戸市北三の丸

茨城

入選五名

佳作一〇名

学用品

中は万年筆

佳作一〇名

記念品

小中学生の部

佳作一〇名

学用品

城県青少年室

水戸市北三の丸

茨城

入選発表

昭和40年9月13日

送り先

城県青少年室

水戸市北三の丸

茨城

入選発表

昭和40年9月13日